武　一　中

令和２年７月１５日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ２－６号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

失敗を恐れない

校　長　　中嶋　建一郎

「失敗」はカッコ悪いとか、恥ずかしいと思う人が多いと思います。そして、皆がそう思っているだろうから、失敗はしたくない。失敗したら、「あの人カッコ悪い、恥ずかしい」と思われるからいやだな。皆さん、そんな風に考えていませんか。

中学校の生活の中でも、例えば、英語の授業で、「発音がうまくできない、良くわからない」、だからクラス皆で発音練習するときも声を出さない。変な発音して、失敗したくないから。私は中学生の時、そうでした。

他の授業でも「だれか、この問題の答えを考えた人」と先生から言われても、手を挙げない。自分の考えた答えはあるけれど、間違っていたらいやだから、手を挙げない。

どうでしょう。１年生だったら小学生の時にもこのようなことがありませんでしたか。でも、英語の発音に関しては、もしも、発音がわからなければ、先生や友達が教えてくれます。少しの違いなら、一緒に発音しながら直してくれます。発音しないと何が違っているかもわかりません。自分の答えがあるのに手を挙げなかった人は、あなたが考えた問題の答えは、他の人が考え付かないような考えだったかもしれません。

声を出さないこと、手を挙げないことは、自分の能力を伸ばすことや周りの友達が考えを広げるチャンスを逃してしまっていると私は考えます。確かに失敗するとその時は嫌な気持ちになるかもしれません。しかし、失敗には大きな学びがあります。失敗することで、それまでわからなかったことがわかることが多いのです。

また、「失敗を恐れない」ということは、「チャレンジする」ということにもつながります。自分の知らない新たなことに対して、「失敗するといやだから、やらない」という人もよくいます。でも、そうすると自分の世界が広がっていきません。「初めてなのだから失敗しても当たり前」くらいの気持ちで様々なことにチャレンジしてほしいのです。

失敗には大小様々なものがありますから、時には先生に叱られることもあるかもしれません。でも、私は皆さんに「失敗を恐れないこと」の大切さを知ってほしいと思っています。そして、中学の３年間で様々なことにチャレンジして、たくさん失敗して、自分の世界を広げてほしいと思っています。

発明家のトーマス・エジソンはこう言っています。「私は失敗したことがない。ただ、1 万通りの、うまくいかない方法を見つけただけだ。」皆さんも、うまくいかない方法をたくさん見つけてください。

１４日（火）放送朝礼より

放送朝礼後に、感想や意見を書いてもらいましたので一部を紹介します。

＜１年生＞　＊素直に受け止めてくれた人が多いです。

○失敗してしまったことに対して、「はずかしい」「いやだな」と思ってしまうのは、自分だけがまちがったことをしているという考えからだと思いました。ある教科の先生が「教室は失敗していい場所だよ」と言っていました。私はそれを聞いて、失敗することはいけないことではなく、今後再び同じ失敗を繰り返さないようにするための薬のようなものだと感じました。これからは、失敗することを恐れず、様々なことにチャレンジして自分をより良くしていきたいと思います。

●失敗は成功の過程に少なからずあるが、そのお蔭で学びを深めることもできるし、新たな案を浮かべられたりする。だから自分から積極的に行動し、チャンスをつかむことが大切だと感じた。

○自分はよくテストなど失敗します。けど、この放送を聞いて元気づけられました。次、自分が満足できるような点数を取れるまで失敗をちゃんと生かして成長していきたいです。

●私も失敗はいやだと思っていた。今まで授業で手を挙げなかったが、自分の能力を伸ばせると分かり、少し挙げてみようかなと思った。怒られた時もチャンスととらえられるようになれたらいいと思う。

○何かやらないと何も変わらないと思った。また、何かをやることで、うまくいかないことの理由が分かるので挑戦することが大事だと思った。

●失敗しても、それは悪いことではなく、めぐりめぐって自分の成長につながっていくのだと思った。他の人が「失敗したら…」と思うことがないよう、失敗しても大丈夫という気持ちや環境をつくることが大切なのだと感じた。

○僕も失敗を恐れ挑戦しないことがよくある。でも失敗を恐れ挑戦しなかったら、残るは後悔だけだ。だから失敗を恐れずに挑戦することを大切にしていきたい。失敗しても課題や長所などの次の挑戦につながると思う。失敗は、はずかしいものではない。上手くいかなかった方法。

●失敗は失敗することがはずかしいのではなく、周りに何か言われることが怖いという印象があるので、たとえ誰かが失敗しても笑ったりしない。

○私は小学２年生ぐらいの時に学芸会の練習で失敗して笑われてしまい、以来、失敗を恐れてあまり色々挑戦できなくなってしまいました。しかし、今日の校長先生のお話を聞き、失敗は自分が成長するチャンスだということに気が付きました。これからは、失敗を恐れず、何事にも挑戦していきたいです。

●僕は小学生の頃、学校は失敗、間違える場所だと教えられました。僕は人前で何か発表したりするのは苦手だけれど、この教えのおかげで小６の最後の方、沢山発表することができました。中学でもできる限り努力していくつもりです。こんな風に失敗するのは当たり前のような空気をつくれば、みんながいい気持ちで発表等をできるのではないかと僕は思いました。

＜２年生＞　＊疑問を投げかけてくれた人もいます。深く考えるのには大切なことです。

〇僕はサッカーをするとき、いつもミスを恐れてしまっていました。しかし、そのままでは何も成長することができないことを知り、今は自分の思うようにプレイしています。校長先生の話から、さらに失敗を恐れてはいけないという気持ちが強まりました。

●失敗ははずかしいことだと思っていたけれど、上手くいかないことをたくさん見つけることは自分の経験になり、これから生きていく上で役立つ知恵になるのだということに気付くことができた。これからは、上手くいかないことをたくさん見つけるためにたくさん失敗していきたいと思う。

〇失敗はカッコ悪いイメージがあるが、失敗すると分からなかったことが分かる。それに失敗するのはチャレンジだということに共感した。だから失敗することは逆にカッコイイと思った。

●失敗って怖いし、したくないものだけど今日の話を聞いて、失敗ってしていいものなんだ、怖がらなくていいんだと気づいた。自分の答えが間違っていたら…と思って手を挙げられないことなど、今の自分は失敗を恐れていろいろできていないことがあるんだなとも気付いた。これからは、失敗するものと思って色々な事にチャレンジしたい。

〇学校や普通の家庭は賞罰教育をしています。なので、失敗したら罰を与えるというのがほとんどです。失敗したという事は、行動をしたというようにも考えられます。その行動をしたという事に目を向けてあげるというのも大切だと思います。

●失敗を恐れないということに少し違和感をもった。失敗を恐れずリスクの高い方を選ぶのは、また違うことだと思った。

〇失敗を恐れずに何かをして良いのは練習だけだと思う。練習というのは本番のためにするものであり、失敗は本番でしないようにすることが重要だと思う。なので、単純に失敗するパターンを考え、複雑なものは練習で見つけるものと考えた。

●今日の話を聞いても、まだ「失敗」はダメなこと、いやなこと、と頭に入っていて、成功の方だけがいいと思ってしまう。でも、ウン万通りの中から「失敗」をさがして「失敗」のおかげで成功につながるならいいと思った。

〇私はトーマス・エジソンさんの「失敗」という言葉を「一万通りの上手くいかない方法」という言葉に変えるというのが心にしみた。失敗を怖がらずに上手くいかない方法を見つけて次に生かしていけばいいのだと良く分かった。私も一万通りの上手くいかない方法を見つけたい。

●失敗することが悪いとか、ださいとかは思ってなかったけど、失敗することに意味があったり、新しい事や自分の知らない楽しいことに出会えるのだと分かった。

〇失敗は大事なことだと分かったけれど、やっぱりいつものくせで失敗を恐れそうで怖い。まだ時間はかかると思うけれど、失敗を恐れずに生きていきたい。

●僕は校長先生のように授業で失敗するのが怖くて発言できないような事が多くあり、とてもあてはまると思った。失敗を恐れない事は、難しいかもしれないけれど、少しずつ良くなるように努力したい。

＜３年生＞　＊これまでの中学生としての経験をもとに書いてくれています。

〇失敗は誰にでもあること、それをどう生かしていくのかが大切。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉を思い出した。「失敗」ではなく「上手くいかない方法」というポジティブにとらえることも大切だと思った。

●「失敗」を恐れることは、当たり前のことだし、人間の自己防衛のための本能だともいえると思った。ただ朝礼の話を聞いていて「失敗」は「失敗」ではなく「成功のもと」「成功までの道のり」という言葉であることを知り、「失敗を恐れることは当たり前」であることを受け入れることが重要なのではないかと思った。

〇失敗を恐れない事はとても大切だと思います。ですが、いざ自分がとなると失敗を恐れ、なかなか挑戦しようとできません。１年生のころに比べれば、少しはできるようになりましたが、それでも私にとっては難しいです。なので、正直、失敗を恐れず人前でもハキハキしている人がうらやましいです。

●私は失敗を恐れないということは無理だと思います。何事にも恐ろしいことはあって、その恐ろしいことを考えれば成功につながると思いました。よく失敗を恐れないために「勇気をふりしぼって」と言いますが、やらなくてはいけないことがあった時は、勇気など関係なく、やらなくてはいけないと思います。

〇おそらく生徒、先生、親、誰でもが失敗したくないと考えていると思う。しかし、僕が一中で過ごしてきた中で、他人の失敗をあざ笑う人は見たことがない。次につなげてまた同じようなことがあった時に、失敗しないようにすればいいと思う。

●「失敗は成功の元」という言葉があるが、正にその通りだなと思った。失敗を恐れて何もしなかったら成功はなく、大きな取り返しのつかない失敗を起こしてしまう可能性がある。小さな失敗を何度も経験して、次こそは、次こそはと何度も考え、そして最終的に成功すれば良いのだと思った。失敗してはいけないのではなく、失敗を恐れてはいけない。

〇私は失敗を恐れずにチャレンジすることは大事だと思うが、失敗して笑ったり冷やかしたりしない周りの人々の態度も重要だと思った。自分も失敗を恐れずチャレンジし、失敗した人がいたとしても笑わず教えてあげたりしたい。

●私は「失敗」すること自体は決して悪くないことだと思っている。しかし、ただ「失敗」だけをして、前に進むのを諦め、次のステップへ進まないのは本当にもったいないことだと思う。「失敗」してしまったら、その都度なぜそうなったのか、これからはどうすればいいかをしっかりと考えて次にいくことが重要だと思う。また、「失敗」や「成功」の経験をするためには、結局チャレンジをしないといけないので、私はこれからは、何事にもチャレンジする努力をしていきたいと思う。

〇人に自分の失敗を見られたくなかったり、失敗するのが怖いと思ったりすることは自分にとって、よくあることだと思います。失敗するのが怖いと思うから手を挙げることができない。だから、自分は積極的になるのが難しいのだと思います。失敗を恐れないで、それを学びにつなげることが大事だと思います。校長先生のおっしゃっていたトーマス・エジソンの言葉が心に残りました。私もうまくいかない方法を見つけていきたいと思います。